

第21号
平成21年8月10日
発行
「市民活動情報紙
なると」編集委員会

市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動
支援センター
☎685-7170



鳴門選抜阿波おどり市の会場

8月8日、鳴門選抜阿波おどり市が鳴門市文化会館周辺で初めて開かれました。会場では、地元の農産物・水産物等の販売や阿波踊り・ライブ&ダンスショー等があり大勢の来場者でにぎわいました

豊かな自然資源を鳴門の活性化に生かす

NPO法人 ガンパール渦のまち
理事長 福田 譲

かつて、塩業と観光で栄え賑わった鳴門の街を回顧する人は多いと思います。しかし、特に近年は、製造業の減少と観光産業の衰退、農業の後継者不足による農業人口の減少と鳴門をとりまく経済環境はますます厳しくなっています。

当法人は、鳴門の活力を取り戻すべく、鳴門に残された産業は豊富な自然環境を利用した観光と一次産業にあると捉え、少しでも鳴門の活性化に寄与できればという考えから出発しています。

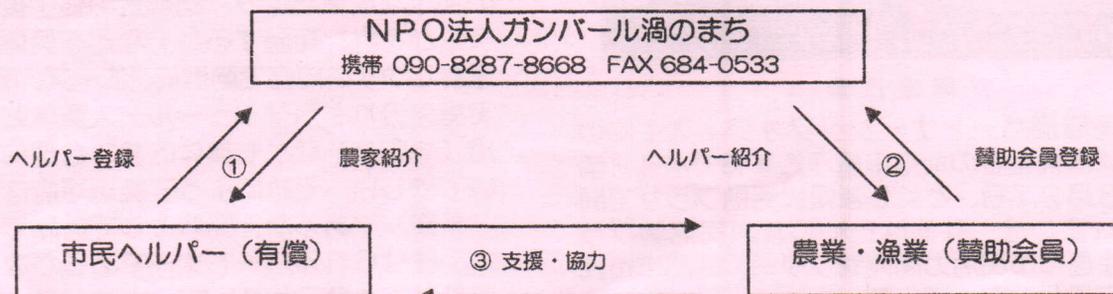
食の安全性や食糧自給率、また地産地消の考え方の浸透など、農業の重要性が高まるなか、鳴門の一次産業は食糧供給地として大きな役割を担うようになります。一方では、団塊の世代の大量退職が始まり、この世代が農業を支援していくことが可能であり、また、近年社会問題となっているニートの就農を農業支援につなげたいと考えています。

この双方の思いを一致させ、農業を支援しようとする試みが「農業ヘルパー制度」です。「ガンパール渦のまち」では、ヘルパー会員（市民）と賛助会員（農業）の募集をしています。

この農業支援の前段階として、来春には市民農園を開設する準備を進めています。市民農園で農業を体験・理解することにより、農業支援にまでつながればと考えています。そして、将来的には、観光産業と農業をマッチングさせ農業観光にまでつなげていきたいと思っています。

豊富な自然を鳴門の活性化に生かし、賑わいのある鳴門の復活をめざしています。

農業ヘルパー制度とは



「幸せのキャッチボール」

鳴門市第一中学校ボランティア部

私たちボランティア部は、校内に優しい気持ちを表現したい生徒がいるはず。その気持ちを行動に移せる活動の場を作ろうと2年前に作られました。

校外のボランティア活動として、毎週土曜日は学校近くのケアハウスやグループホームを訪問し、入居者の方と交流をしています。訪問を通してお年寄りが明るくなり、生き生きしてきたし、私たちもお年寄りから温かい気持ちを受け取り毎回楽しみに行っています。

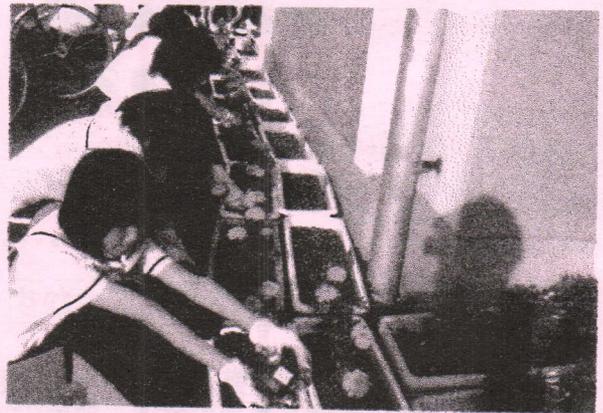
長期休暇中は独り暮らしのお年寄りにお弁当を作って配るボランティアを手伝っています。ボランティアの方に作り方を教えてもらいながら一生懸命に作ります。お弁当を届けたときのお年寄りの表情を見ると頑張って作ってよかったと実感します。

学校横の国道の清掃活動を2ヵ月に1回程度行なっています。初めは部員だけで行いましたが、今年度は他の生徒も参加し、50名程度の仲間で行う学校行事のようになってきました。この様子を見かけた地域の事業所から連絡があり、一緒に参加して活動を行なうようになりました。清掃をしていると地域の人から「ごころうさん」と声をかけてもらい益々頑張ろうという気持ちになっています。

買い物にマイバックを持参して、レジ袋の使用を減らそうと市民ボランティアの方と一緒に呼びかけ運動をしています。マイバックの持参率もあがってきています。鳴門市のみんなが環境を考えてマイバックを持って買い物をするようになって欲しいなと思います。

校内での活動では、校内美化に重点を置き活動しています。校内の掲示板やドアなどが汚れていたためペンキ塗りをしました。玄関の生け花も毎週行い、季節の花をできるだけ生けるようにしています。また、プランターに花を育てています。

以上が、私たちが行っている活動です。これからも自分たちにできることを見つけ、継続して行っていきたくと思っています。地域の方と一緒に活動が出来るようになるといいなあとと思っています。



花を植えている生徒たち

地球環境基金の助成申請応援するでよ！講座



講座風景

四国環境パートナーシップオフィス主催の『地球環境基金の助成申請応援するでよ！』講座が6月27日、とくしま県民活動プラザで開催されました。共催はとくしま県民活動プラザ、徳島市市民活力開発センター、鳴門市市民活動支援センターでした。

講師の(独)環境再生保全機構の西久保裕彦部長から、地球環境基金助成金制度と、悪い助成金交付要望書の記入例を参考に申請書記入のポイントについて説明がありました。

申請書は、申請した活動(事業)の「どういことをしたいか(するか)」ではなく、この活動(事業)を行なうことによって「どのような成果を生み、助成金の終了後にどう生かされ、持続するか」などを具体的に理解しやすい内容で簡潔に、ニーズ、準備・実施の流れとスケジュール、人員体制、費用(や収支)なども具体的かつ合理的に書いて欲しい。それによって実現可能な活動(事業)であるか、団体として信頼できるか、任せられるパートナーであるかなどを見ているとのことでした。

大津地区自治振興会では、環境改善の切り札といわれるEMを使って、地区全体の河川や側溝からきれいな水環境を作ろうと「大津地区環境改善事業」に取り組んでいます。

この大津地区環境改善事業は、平成21年度地域づくり支援事業として行い、3カ年を目標に事業を推進しています。

1年目である本年度は、大津町大代地域をモデル地域として、EM活性液やEMダンゴの作成と利用はもちろん、次年度の活動の参考にすべく、その効果の調査も行っています。



EMダンゴを作っている大津地区のみなさん

大代地域では自治会を中心にして「EM工房大代」を結成、町内会員、老人会のメンバーなどが協力して、活性液の仕込みやEMダンゴを作ってきました。EMは、すでに多くの住民に利用されていますが、全地域内で取り組むため、全世帯に2リットル入りペットボトルのEM活性液を配布しました。この配布は今年度あと数回行われる予定です。

EMダンゴもすでに5,000個あまりを作成、地域内を流れる大代谷川や旧中山谷川、側溝などに投入してきました。

今後は、地域内に活性液の配布はもちろん、EMの効果は大代地域以外にもPRするとともに、EM活性液を希望者に配布し、効果を体験してもらうことにしています。

次年度以後の活動については、効果があると認められた地区には、地域住民でEM活性液やEMダンゴを独自で作成・活用してもらうことも視野に入れた活動を展開するとともに、大津地区全域でEMを使った環境浄化を行うことにより、美しい河川や水質が生まれることにより、水を利用する特産のサツマイモやレンコンなどの品質向上にも効果があるのではと考えています。

「活動内容説明会開催」のお知らせ

NPO法人 ナルク徳島「阿波すだち」

“自立、奉仕、助け合い”をモットーに独自の「時間預託活動」を中心に、全国130余りの拠点でボランティア活動を行なっているニッポン・アクティブライフ・クラブ〈ナルク NALC〉の徳島拠点 ナルク徳島「阿波すだち」は平成20年1月発足以来、おかげさまで、会員も順調に増え、活動もますます活発化しております。

病院への付き添い、家事援助、庭の手入れなど会員同士が助け合う「時間預託活動」のほか、グループホーム入居者へのケアメイク、公園の定期清掃などの「奉仕活動」、パソコン教室、アートビーズ教室、歌声喫茶などの「自立活動」を行なっています。

ナルク独自の「時間預託活動」は、会員がボランティアすると1時間1点が預託され、自分や配偶者が必要になったとき、その貯めた点数によりボランティアをしてもらうことができます。また、この点数は、遠く離れた両親のために使うことも可能です。現在、横浜に住む会員が貯めた点数で、徳島に住む母親のボランティアをナルク徳島がしています。点数を貯めていない会員については、1時間当たり500円程度の寄付をお願いしています。

ナルク徳島の会員数は、現在、約170家族250人ですが、ネットワークを拡げるため、新たな会員を募集しています。

特に、県北部の皆さんにナルクをご理解いただくために、次のとおり「説明会」を開催することになりました。皆様お誘いあわせのうえご来場ください。

【日 時】9月13日(日) 13:30~15:00

【場 所】キョーエイ鳴門駅前店4階

【内 容】「助け合い、時間預託活動」・・・1時間1点の善意の交換制度

ナルクの「奉仕活動」・・・いろいろなボランティア活動事例

ナルクの「自立活動」・・・健康づくり、趣味の会など会員交流について説明し

皆様からのご質問にお答えします

【参加申込み先】☎・FAX 088-615-1066 ナルク徳島「阿波すだち」

第13回「地球倫理推進賞」

◇応募部門

- ① 国際活動部門 ② 国内活動部門

◇応募資格

当該の活動が営利を目的とせず、5年以上継続し、顕著な実績をあげている団体または個人

- 1 地域開発 住民への技術支援、農業技術指導、人道支援等、地域開発に取り組む
- 2 環境 自然環境の浄化、美化に取り組む
- 3 教育 青少年の健全育成、教育支援に取り組む
- 4 文化 文化の継承や発展に寄与
- 5 医療 医療分野における大小の支援活動、技術開発、革新の実現
- 6 その他 上記に該当しないものの地球倫理の理念に適った活動をしている

◇表彰

各部門の受賞者には賞状・副賞100万円併せて文部科学大臣賞授与

◇応募締切り

平成21年9月30日(当日消印有効)

◇応募先・問い合わせ先

(社)倫理研究所「地球倫理推進賞」事務局
☎ 03-3264-2279
FAX 03-3264-7881

第3回 未来を築く 子育てプロジェクト

子育て支援活動の表彰

◇募集対象

より良い子育て環境づくりに資する活動を行ない、成果を上げている個人、団体(規模は問わない)

◇規定

1. 子育て支援に資する諸活動を継続的にこなっていること。
2. 活動内容が社会に認められ、ロールモデルとなりうるものであること。
3. 活動の公表を了承していただける個人、団体であること。
4. 日本国内で活動している個人、団体に限る。

◇表彰

- ① 内閣府特命担当大臣(少子化対策)賞(未来大賞受賞者の1組に授与) 表彰状
- ② 厚生労働大臣賞(未来大賞受賞者の1組に授与) 表彰状
- ③ 未来大賞 表彰状、副賞50万円(未来賞と合わせて計100万)(未来賞受賞者より2組)
- ④ 未来賞 表彰状、副賞50万

◇締め切り

平成21年9月30日(必着)

◇問い合わせ先

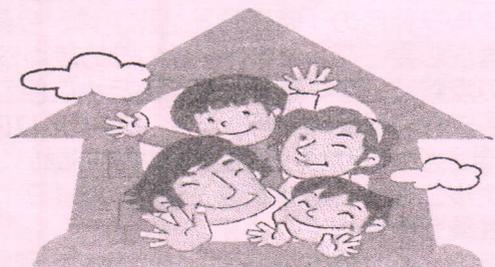
「未来を築く子育てプロジェクト」事務局 W 係
☎ 03-3265-2283

応
募

行事のお知らせ

2009年 四国環境助成金セミナー

- 日時 平成21年11月14日(土) 13:00~16:40
場所 徳島県郷土文化会館(阿波銀ホール)会議室6
目的 環境NPOに対し、助成制度の認知を高め、
環境NPOにより助成金を活用してもらう
参加費 500円(資料代)
主催 セブン-イレブンみどりの基金・四国EPO
とくしま県民活動プラザ



一口メモ

任期満了で役員全員が重任(再任)
された場合でも役員変更登記は忘れ
ずにしてください。